

(別紙1)

1 評価調査員養成研修（標準カリキュラム例）

講義	内容	時間
高齢者が地域で暮らし続けるための介護の理解	1 地域での高齢者の暮らし 2 認知症をもたらす病気 3 認知症の人の特徴とたどる経過 4 これからの高齢者および認知症の人の介護	講義 100分 演習 20分
認知症対応型共同生活介護の基本的理解	1 歴史 2 特徴と役割 3 制度の理解 4 現状と課題	講義 180分 演習 60分
サービス評価の必要性と目的	1 サービス評価の目的 2 サービス評価の位置付け 3 サービスの質の確認	講義 90分 演習 30分
サービス評価の流れと手続き	1 サービス評価の進め方 2 評価項目の内容と理解 3 訪問調査の具体的な手法	講義 200分 演習 40分
訪問調査実習	1 実地訪問調査 2 調査報告書記入演習	講義 330分 演習 150分
実習を踏まえた調査方法、項目の理解	1 調査方法について 2 評価項目の理解について 3 報告書記入方法について	講義 150分 演習 180分
研修のまとめ	研修終了後レポート作成	30分
合 計		1,560分